

目で見える老年看護学 第2版

ご好評をいただいた、「目で見える老年看護学」シリーズがリニューアル!

最新のデータ、最近のトピックスなどを加え、CGもグレードアップして、さらに分かりやすく生まれ変わりました。このシリーズは、高齢者に対する理解を深め、また看護を実践するための基礎知識を段階的かつ系統的に学べるように構成しています。是非ご活用下さい。



■ 監修: 堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授

● DVD全7巻 ■各巻価格 **¥28,000** (税抜)
■セット価格 **¥196,000** (税抜)

VOL.1 高齢者の生理機能 I 感覚・運動・神経系 30分

■ 原案: 平田 文子 三育学院短期大学 名誉教授

老化とは何かについて触れ、生理機能の加齢変化として、感覚系では老視、白内障、難聴、平衡感覚の障害について。運動系では骨粗鬆症、関節の変化、筋の萎縮について。神経系ではアルツハイマー型認知症について解説します。

VOL.2 高齢者の生理機能 II 消化・腎・排泄系 30分

■ 原案: 堀内 ふき 佐久大学 看護学部 看護学科 教授
■ 原案協力: 浅野 祐子 前 茨城県立医療大学 保健医療学部 看護学科 講師

生理機能の加齢変化として、消化系では咀嚼・嚥下障害、味覚の変化、消化・吸収機能の低下、胃腸運動の低下について。腎・排泄系では、排尿・排便機能の変化、またフィジカルアセスメントについて解説し、さらに血糖調節についても説明します。

VOL.3 高齢者の生理機能 III 循環・呼吸系 30分

■ 原案: 櫻井 美代子 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科 教授

生理機能の加齢変化として、循環系では心機能の低下、血管の変化、粥状動脈硬化、血液の変化について、また心血管系のフィジカルアセスメントについて解説します。呼吸系では、換気機能の低下、ガス交換機能、クリアランス機能、またフィジカルアセスメントについて解説します。

VOL.4 看護援助 I 急性期から症状安定期までの看護 41分

■ 原案: 浅野 祐子 つくば国際大学 医療保健学部 看護学科 講師

脳梗塞患者の急性期から症状安定期までの事例。急性期の看護では、異常を早期に発見するための観察や検査、意識レベルが低い状態での安全管理、家族への援助、また二次的障害を予防するための良肢位の保持、体位変換、関節可動域訓練について、また安定期の看護では、ADLの拡大を目標とした、座位訓練、嚥下訓練。患者のメンタルケアについて解説します。

VOL.5 看護援助 II 回復期リハビリテーションから在宅に向けての看護 32分

■ 原案: 櫻井 美代子 東京慈恵会医科大学 医学部 看護学科 教授

脳梗塞患者の回復期から在宅に向けての事例。回復期の看護では、ADL拡大への援助、身体的ケア、精神的ケアについてFIMの経時的な変化を示しながら解説します。また在宅復帰にむけての家族の介護力の把握、退院指導(排泄動作、栄養指導)、住宅改修のための家屋調査、試験外泊などについても解説します。医療ソーシャルワーカー(MSW)の役割についても見ていきます。

VOL.6 看護援助 III 寝たきり高齢者の在宅看護 33分

■ 原案: 山田 淳子 元三育学院短期大学 非常勤講師

パーキンソン病で要介護5の認定を受けた高齢者の在宅における事例。清潔の援助として、洗面・口腔ケア、更衣、おむつ交換・陰部洗浄。食事の援助として、経管栄養と胃瘻、脱水について解説します。また廃用症候群については、褥瘡の予防と処置、関節拘縮の予防について解説します。

VOL.7 看護援助 IV 認知症高齢者の看護 36分

■ 原案: 星山 真理子 東京警察病院看護専門学校 専任教員

認知症の現状や将来推計、中核症状と周辺症状(BPSD)、認知症の病因、アルツハイマー型認知症の診断基準、認知症の治療(薬物治療、非薬物治療)について説明し、周辺症状が現れている患者に対するアセスメント情報に基づいた適切なケア、援助方法について解説します。また認定看護師の役割についても見ていきます。

©2007~©2009

高・齢・者・ケ・ア・に・役・立・つ エイジングメイクアップ演習



エイジングメイクを施し、カツラや衣装をつけてタイムスリップした学生は50年後の自己像と遭遇します。そして老人になりきった学生は、これまでの自己の経験を超えた高齢者の感情を実感します。またカード型人生ゲームでは、家族や生きがいなどに対する価値観を変化させ、ポジティブに生きることの大切さに気づくことができます。



■ 原案監修: 横山 ハツミ 広島国際大学 看護学部 講師
■ 原案協力: 林 慎一郎 広島国際大学 保健医療学部 准教授

DVD ● DVD 全1巻 27分
■ 価格 **¥28,000** (税抜)

講義や身体的体験では理解しにくい喪失感や獲得感を体験することにより、老いの自己像を変化させます。また、高齢者の心理的変化のプロセスを体験することで、高齢者の葛藤や感情を知り、さらにいすれ訪れる「自分に起こる老い」と対面することにより、高齢者に対する理解が深められます。



©2006